

2021年9月7日

1. コロナ禍における周産期医療体制について

質 問

千葉県柏市で新型コロナに感染して自宅療養中の30代の妊婦が早産し、新生児が死亡するという痛ましい事故が発生した。コロナ禍では、産科医療対応を担う医療機関においても、安心して子供を産むことができる医療体制を構築すべきと考える。所見を伺う。

答 弁

妊婦の感染が判明した場合には、医師が入院の必要性を判断し、自宅療養となった場合でも状態に応じ、速やかに外来受信や対応可能な医療機関に入院できる体制を構築している。

特に、ハイリスクや感染を伴う分娩に対応できる体制を引き続き確保して行くことが必要と考えており、今後も、医育大学を中心とした産科医療機関による協議の場などを活用するほか、周産期母子医療センターなどとも連携を図りながら、妊婦が感染した場合であっても、確実に医療を提供できるよう取り組んでまいります。

2. 抗体カクテル療法について

質 問

現在、軽症や中等症で重症化リスクのある患者を対象とした抗体カクテル療法が行われている。この治療法は、重症化、死亡のリスクを7割減らすとも言われているが、供給量に課題があるとも聞いている。治療薬投与による重症化予防、また、医療提供体制への負荷の軽減も期待されるが、どのように対応しているのか、伺う。

答 弁

道では、この治療法を必要とする方が、その投与を受けられるよう、国が実施している医療機関等への事前配布も活用しながら、全道各地域で実施できるよう、調整・協力している。9月10日からは、道が札幌市内に設置する宿泊療養施設においても、臨時医療施設として、新たに中和抗体薬治療を開始する。

3. 若者へのワクチン接種について

質 問

感染症対策の決め手とも言われるワクチン接種を推進する必要があると考えますが、20代、30代の方については、副反応への不安や、高齢者と比較して重症化リスクが低いと言われていることなどから、2割を超える方がワクチンを打たないと回答した調査結果もあると承知しています。道として、若者に対するワクチン接種をどのようにして進めようとしているのか、所見を伺います。

答 弁

道では、市町村が接種順位を判断する際の参考となるよう、地域の実情に応じ、若年層から接種を進める考え方についてもお示しするほか、ワクチンへの正しい理解の促進等に関する広報を機会あるごとに多様な手法で実施するなど、積極的な情報発信に努めており、今後、若年層への接種が進むよう、さらに取り組む。

4. ワクチンの安定供給について

質 問

ワクチン接種を円滑に進めるためには、ワクチン供給スケジュールの早期の情報提供と安定供給が欠かせません。ワクチン接種を加速化するためにも、地域が希望するワクチンの量を安定的に供給することが不可欠と考えますが、所見を伺います。



答 弁

各市町村の希望も踏まえ、10月上旬までの配分予定をお示したところ。今後も市町村における接種の進捗状況を把握するとともに、ワクチン融通も積極的に行いながら、接種が、更に促進するよう努めてまいります。

道政に関するご意見・ご要望をお寄せください

北海道議会議員 田中ひでき事務所

〒085-0046 釧路市新橋大通8丁目2-19 ミヤシタビル 3F-B
TEL 0154-65-8063・FAX 0154-65-8064田中ひでき オフィシャルwebサイト
制作/株新生田中ひでき
道政通信釧路地域の
道立広域公園の設置を目指します！

新型コロナウイルス感染症の影響を受けている事業者の皆様、道民の皆様にご心からお見舞い申し上げます。コロナ収束のため、ワクチン接種のさらなる加速化、国による治療薬の実用化など、北海道としても全力で対応して参ります。



私は喫緊の課題である人口減少・少子化問題に対して、その対策の一つとして、釧路地域への「道立広域公園」の設置に強く取り組んでいます。近隣では根室管内中標津町の「道立ゆめの森公園」、十勝管内は「十勝エコロジーパーク」があります。**冬でも悪天候でも、子供たちを安心して遊ばせる事のできる屋内遊戯施設を中心とした道立広域公園は釧路管内に必要な施設です。**釧路市を含む釧路管内8市町村は、「釧路総合開発促進期成会」として、平成13年より白糠町泊別



写真は中標津町「道立ゆめの森公園」

地域（釧路空港近隣）に設置することを決定して、北海道に対して20年以上にわたり要望をしています。

道東自動車道「阿寒IC—釧路西IC」が令和6年度中に開通予定であり、その間に「釧路空港IC（仮称）」が設置されることから、道立広域公園へのアクセスも良くなります。釧路管内の「子育て環境の充実」を図るためにも、しっかりと設置実現に向けて取り組んで参ります。

道立広域公園設置に向けたこれまでの取り組み

1

2020年1月25日

道立広域公園予定地の視察

道立広域公園は全道12ヶ所で供用済みとなっていますが、北海道の計画目標では19ヶ所に整備することになっています。残り7ヶ所が未整備です。厳しい財政危機にある道は、新たな道立広域公園の整備計画が動いていない状況にあります。もちろん、財政状況を見無視するわけにはいきません。しかしながら、人口減少と少子高齢化が他県を上回るスピードで加速している北海道は、総合的な施策を講じる必要があります。釧路市は日本製紙釧路工場の撤退など人口減少にさらに拍車がかかるのではないかと危惧されています。企業進出などに加えて子育て環境の充実も必要とされています。



2020年1月 白糠町にて現地調査

2

2020年2月3日

鈴木知事との懇談

釧路管内に道立公園はなく、私も娘を根室管内中標津町のゆめの森公園に2時間かけて連れて行ったことなどを鈴木知事へお話をさせていただき、釧路管内への道立公園整備に取り組むことをお願いしました。

子育てをしているお母さんから子どもの遊ぶ場所がない、との声も多い釧路管内です。北海道、地元市町村、民間の力を活用するなど知恵をしばって実現して欲しいと考えます。



鈴木知事への申し入れ

3

2021年3月11日

令和3年 第1回定例会での一般質問

人口減少に歯止めがかからない釧路。子育て環境の充実には非常に大切であることから、道立広域公園の整備検討について知事へ質問しました。

鈴木知事は、「道立広域公園は、地域振興の面からも重要な施設。基本方針を踏まえ限られた予算で多様化する利用者ニーズに対応するため引き続き、要望のある地域と意見交換を進めるなど効率的かつ効果的な整備手法について検討を進めてまいります。」と答弁されました。



北海道議会一般質問

4

2021年5月12日

建設委員会での質問

今年3月の道議会定例会で鈴木直道知事に一般質問を行い、検討を進めるとの答弁をいただき、建設委員会であらためて今後のスケジュールについて質問しました。

白糠の道立広域公園化で協議会
道議会定例会で
【札幌】公明党の田中英樹氏（釧路市）は11日の道議会建設委員会、釧路管内で整備が求められている白糠町泊地区の道立広域公園化について今後のスケジュールを質問。宮下忠昭町長は、市町村や関係機関と意見交換する協議会などを設ける考えを表明した。
道立広域公園が未整備なのは釧路管内7地域。鈴木直道知事は3月の定例会で、2018年度に策定した北海道の基本的な方針を踏まえて効果的な整備手法を検討する意向を示していた。田中氏は昨年度の調査内容や今後の日程を改めてた。白糠で要望箇所周辺の土地利用状況やアクセス道路、電気や上下水道などインフラの整備状況を調査。宮下町長は整備の検討には周辺の都市公園や公共・民間施設の現況を踏まえ、機能分担や連携を考慮し、管理運営を含めた地元市町村との役割分担、さらに民間資金やノウハウの活用が欠かせないことを指摘。今年度は協議会を設け、昨年度までの調査結果を基に、地域と課題を共有しながら検討したい考えを示した。（武田博）

2021年5月12日 釧路新聞

5

2021年6月25日

令和3年 第2回定例会予算特別委員会

予算特別委員会にて、釧路地方の道立広域公園の今後の整備について質問しました。

北谷建設部長は「協議会などの場を速やかに設け地域からの要望に応えるためにも検討を加速させていくと答弁しました」



道議会予算特別委員会での質問

建設予定地から見た眺望



釧路市街地を一望



太平洋を一望



釧路空港



阿寒連山